

---

領域名：地域保健看護

報告者：與座 千代子

---

### 教育及び実践の課題

国内の保健師教育の技術項目の卒業時の到達度（以下、卒業時到達度という）は平成 20 年に厚生労働省から提示されているが、本領域ではまだ教育に活用できていない。また、卒業時到達度はアメリカ、イギリス、カナダ等の国レベルでの公衆衛生看護に必要なコンピテンシーに関する文献や、実践者、有識者による検討を重ねて作成されている。このため、国内外の文献や歴史、今後の動向を把握していき、本学の学生が 4 年間の講義・演習・実習において、どの時点でどの目標が到達されたらよいかの検討をしていくことが必要である。

### 活用した論文の概要

公衆衛生看護実践のためのレビューとコンピテンシー改訂のための公衆衛生看護の 4 組織評議会による最新の業績を述べたものであり、実践・教育・研究のためのこれらのコンピテンシーの結果に焦点を当てることを目的とする。この 4 組織評議会は公衆衛生看護に焦点を当てた 4 つの看護の組織の連合であり、地域保健看護教育協会 (ACHNE)、公衆衛生看護協会 (APHN)、アメリカ公衆衛生協会の公衆衛生看護部門 (APHA PHN)、アメリカ看護協会の経済と実践の組織 (ANA) の看護組織で構成されている。4 組織評議会のコンピテンシーは、CoL（公衆衛生専門職のための評議会）のコンピテンシーに沿って基礎作られ、公衆衛生の科学と実践の領域の中に適した公衆衛生看護を確実にするためにデザインされたものである。

公衆衛生看護師のための測定可能なコンピテンシーは 8 領域（分析と評価、政策開発とプログラム計画、コミュニケーション、文化、地域規模の実践、公衆衛生学、財政計画とマネジメント、リーダーシップとシステム思考）あり、各領域は 3 つのレベルの段階（1: マネージメントの地位にいない者、2: マネージメントや監督の責務のある者、3: 幹部/上級・管理者、リーダーシップレベルの者）で構成されている（表 1）。

### 教育及び実践への活用

1. 本論文の各領域 3 段階のコンピテンシーについて、実践できることを目標に、具体的な下位項目についての検討が必要である。そのためにはまず、本学における 4 年間の講義・演習・実習が、日本における卒業時到達度（71 項目）と照らした際、どの目標がどの時期に達成されるべきものなのか検討し、独自のチェックリストを作成していく必要がある。そこで現在、本学独自のチェックリスト作成に向け、学生自身が、卒業時到達度（71 項目）に対して、どれくらい到達できたと感じているか、自己評価を得て、講義・演習・実習の内容及び組み立て方の振り返りを行うことを計画中である。
2. これまでの OSCE などでの評価は教員だけで実施している。今後、学生の自己評価を導入するため、今年度の OSCE 実施に関するアンケートを集計中である。

### 参考文献\*

Swider SM, Krothe J, Reyes D, Cravetz M. (2013): The Quad Council Practice Competencies for Public Health Nursing, Public Health Nursing 30(6), 519-536.

---

表 1. 公衆衛生看護に関する 4 組織評議会による公衆衛生看護のコンピテンシー

第 1 段階	第 2 段階	第 3 段階
<p>第 1 段階のコアコンピテンシーは、臨床・家庭訪問・住民への基本サービスを含む地域の公衆衛生組織において、日常の役割を果たし、マネージメントの地位にいないジェネラル（一般的な）公衆衛生看護師に適應する</p> <p>公衆衛生看護師の責務は以下を含むことであろう： 危険にさらされた住民と共に直接活動を行うこと、予防の全レベルにおいてヘルスプロモーションプログラムの実行、基本的データの収集と分析、フィールドワーク、プログラム立案、奉仕活動（または出先機関の活動）、他の組織的任務</p> <p>しかしながら The CoL(公衆衛生専門職のための評議会)のコンピテンシーは主にポピュレーションレベルに焦点化されており、公衆衛生看護師は頻繁にこれらのスキルとコンピテンシーを個人、家族、または集団のケアに適應したなければならない</p> <p>それ故、第 1 段階のコンピテンシーはこの実践を反映する</p>	<p>第 2 段階のコアコンピテンシーは、臨床サービス・家庭訪問・地域を基盤としたもの・ポピュレーションに焦点化したプログラムの責務を含む、プログラム実施の列举、マネージメントおよび/または監督の責務のある公衆衛生看護師に適應する</p> <p>例えば、責務とは以下を含む：</p> <p>個別の、臨床の、家族の焦点を当てた、そして住民への基本的ヘルスサービスの実施と管理； 予算開発； 地域との関係性の構築と管理； スケジュールと活動計画の設置； 政策課題における推薦の憤慨</p>	<p>第 3 段階のコアコンピテンシーは、公衆衛生組織において幹部（executive）/上級（senior）、管理者レベル、およびリーダーシップレベルの公衆衛生看護師に適應する</p> <p>一般的にこれらのコンピテンシーは、例えば公衆衛生看護部門のような組織とその鍵となる構造上の単位のための未来図と方略の設定を含む組織の管理とプログラムまたは実施の責務にある公衆衛生看護師に適用する</p> <p>第 3 段階の専門職業人は一般的に、機関/組織の範囲内の地位的権力の高いレベルに位置しており、彼らは第 2 段階の人々よりも類似する、またはより高い知識、上級教育、経験をもつ</p>

The Quad Council of Public Health Nursing Organizations（公衆衛生看護の 4 組織評議会）の組織や活動についての情報は以下の web アドレスで閲覧できる：<http://www.quadcouncilphn.org/>.

\*著作権を保持する The Quad Council（4 組織評議会）の許可を得て掲載